

解剖学実習という貴重な機会を賜り、献体をして下さった方々とそのご遺族に心よりの感謝を申し上げます。

本学では、講義および毎週の小テストにより十分な学習を行った上で、ご遺体を解剖して構造や機能を確認するという形式により実習が進められました。毎回の実習の開始時に行われる黙祷で感謝を改め、高い学習意欲を保ちながら実習に臨みました。

私は将来的に、患者さんの負担を減らせるような技術を開発できる研究医（研究者として働く医師）として医療に貢献したいという思いを持っています。そうした技術の開発にあたっては、医学の基礎である人体の構造や機能を知ることが必須です。今回の実習は、私が将来的に目指す医療への貢献に近づくための実りある学びを得られた貴重な機会となりました。特に、実際のご遺体は教科書と同じ人体構造を持たないことがしばしばあり、それが一番の学びでした。「個別化医療」という言葉が注目されていますが、人体の構造だけでも個々人に違いがあることを知り、患者さんに対する医療もまた通り一遍のものではなく、最も合った医療を医師と患者さんが一緒になって探すことの重要性を、机上の論理だけではなく肌で理解できました。

初めに、献体してくださった方々、並びにご遺族の方々へ、解剖学実習ができたことに対して感謝申し上げます。解剖学実習を通して、医学とは座学ではなく、やはり実際に目で見て手を動かす実学であると実感しました。教科書にあるものが実習ではなかったり、教科書にないものが実習であったりと、実習のたびに驚かされました。このように、実習でしか得ることができない学びは大変貴重な経験となりました。

解剖学実習では、以上のように医学的な知識の学びのみならず、基本的な臨床現場の用具の使い方も学ぶことができました。用具の力加減次第で、患者様の手術の出来が大きく変わる可能性があると考え、身が引き締まる思いになりました。

改めて、今回、私たちの解剖学実習にご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。この経験を必ずいかし、多くの命を救えるような医師になれるよう日々精進してまいります。

そして、ご献体してくださった方のご冥福をお祈りいたします。

はじめに、今回の人体解剖学実習につきまして献体してくださった方やそのご遺族の方々、献体の会の会員の皆様をはじめとするご協力頂いた方々に深く感謝申し上げます。この実習では普段行われる教科書などをもとにした座学では決して学びえない多くのことを学ぶことができました。

教科書などでわかりやすく図解されていて存在と代表的な形だけなら医学を学び始める前でも知っていたような有名な構造であっても、実際にご遺体の解剖をさせていただくと複雑な構造をしていて簡単には観察できなかったり、一人ひとりで少しずつ様子が異なっていたりと人体の難しさを感じました。

今回の実習を通して医師に求められる知識の膨大さと、知識以外にも身に着けなくてはならないことが想像以上にたくさんあること、生命の尊さを再確認できたと思います。今回貴重な機会を与えてくださった献体してくださった方とそのご遺族への感謝を忘れず、この経験をいかして将来社会に貢献できる医師になれるよう、これからも努力を重ねていきたいと思えます。

解剖学実習のために献体してくださった方々ならびにそのご遺族の方々、本当にありがとうございました。私たち医学生が学ぶことができるのは、このような方々のおかげでもあると思うと、感謝が尽きません。

この解剖学実習では、普段の授業で学んだ構造が見つかった喜びもあれば、あまりの人体の複雑性に投げ出したくなるようなことも多々ありました。しかし授業で学んだ構造が実際に存在していると、夢中になって解剖できた記憶があります。この解剖学実習ではできたという成功体験よりできなかったことのほうが多かったです。実際の人体の構造が複雑なゆえに、病院で行われる外科的手術が実際は極めて難しいものなのだと実感させられました。今回我々は遺体を解剖していたのですが、手術は生きている患者さんに対して行うものなのでおさらミスが命取りになるからです。

これからは臨床医学の勉強や病院実習がありますが、解剖学実習や解剖学で学んだことを生かしていきます。改めて私たち医学生に学びの機会を提供してくださった方々、本当にありがとうございました。

はじめに、私たち医学生教育のために献体をしてくださった方々とそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。献体をしてくださった方とご遺族の方をはじめとして多くの方のご理解とご協力に支えられた解剖実習であり、かけがいのない学びの場を提供していただきました。

医学部に入学してから座学で教科書や時に動画などを利用して医学の基礎となる人体の構造を勉強してきましたが、将来医師として人の命を預かる仕事をするという自覚やその意味を理解しきれていなかったと思います。今回の人体解剖実習でこの手でいざ遺体を解剖するという時、緊張と責任感、献体された方への感謝で胸がいっぱいになり、医学を学ぶという重みを再認識しました。同時に、これまで学んだ気になっていた知識が実際に解剖をしてみると想像以上に複雑に変化し座学では理解しきれない人体の奥深さを感じました。

今回いただいたこの貴重な経験は、私を医学生としてさらには人として成長させてくれました。教科書とは違う形で理解を深め、意識を刷新できた唯一無二の学びを忘れず、人々の健康へ貢献できる立派な医師になるため日々精進していききたいと思います。

はじめに献体をしてくださった方々ならびにご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

解剖学実習では、教科書のイラストでしか見たことのなかった人体の構造や組織を、実際のご遺体を目で見て確認することができ、理解を深めることができました。さらに教科書通りではないことも多々あり、より実践的な学びを得ることができました。

また、知識的な学びだけではなく、ご遺体を解剖することで人の命を扱うとはどういうことなのかという倫理的な側面も身をもって感じる事ができ、精神的に成長することもできました。それによって、医師という人の命を扱う職業に将来自分はなるのだという自覚がさらに強まりました。

この解剖実習での学びを自分の中の礎とし、これからも医学の勉強に精力的に励み立派な医師になりたいと思います。繰り返しになりますが、献体をしてくださった方々、ご遺族の方々、貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

今回は私たちに医学を学ぶ機会を与えてくださり、ありがとうございます。

今回の解剖実習で学んだことは、やはり教科書通りにいかないということですね。実習の前に解剖単語テストに取り組み、事前に手順書を見て予習をしても、当日ご遺体を見ると分からないことが多く出てきます。具体的にはご遺体によって性別や体つき、血管や神経の走行が異なっており、全て教科書通りになっいるご遺体はありませんでした。このように、常に上手くいかないというところに医学の面白さがあると思います。教科書を超えてはるかに複雑で個性的であることが、献体してくださった方々のおからだから私が学んでもっとも感動したことでした。どのような形になるかわかりませんが、この医学の興味深さを次の世代に伝える努力を生涯、そして死後もしていきたいと考えております。

改めて献体してくださった方々、並びにそれを受け入れてくださった方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私たちは医学を学ぶ際、普段は教科書や資料などでイラストやイメージ図などで勉強することが多い中、解剖学実習という形で、実際に生で見ることができました。献体してくださった方には、筆舌には尽くし難いほどの感謝をしています。

普段の教科書や資料などで見る画像とは異なり、実際にご遺体を解剖すると、改めて自分だけが感じ取れるような経験や学び、疑問などがありました。自分でそういった疑問について考え、調べ、また時に先生方に質問しながら、学ぶことがありました。実際に見て感じることで、座学を勉強する際の助けにもなりました。今までわからなかったことも、自分で見て自分の言葉で落とし込めるようになったことで理解の助けにもなりました。また、ご遺体を解剖することで、自分の中にも医学生としての自覚がさらに強まるようになり、その後の勉学にもより一層励むこととなりました。

こういった貴重な機会、成長の場をいただけたことに、献体してくださった方をはじめ、ご遺族の方々にも改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

解剖学実習と初めて聞き、自分で出来るか不安な部分もありましたが、先生方のサポートや同級生との協力、何よりも自分で予習をし、学ばなければいけないという責任感や、医学への好奇心から良く学べました。

医学部生として東京医科歯科大学に入学した一年生の頃の自分と、今の自分を比較し、大きな違いを非常に実感しています。何が違うのかを考えると、当然講義を受け、持っている医学に関する知識は増えています。その中でも特に大きな成長であり、私の意識の変化のきっかけとなったのが、解剖学実習でした。

この実習があるまで、受けている講義は全て紙の上での出来事であり、感動するような内容があっても実感が湧かないことが多々ありました。解剖学を座学で学ぶことと並行して、遺体の解剖実習を行うことで知識の定着や自分で改めて観察し、実習でしかできないような理解が出来ました。また、実際に病院で人の体と触れるときには、教科書通りで簡単なんてことはなく、臨床としての医学の難しさを体感させていただく貴重な経験でした。

一年生の頃にはご遺体を解剖すると聞いても実感が全く湧かず、解剖自体に対してなんとも言えない恐怖感を抱いていました。しかし、二年生になって医学の授業が増えていくに連れて、ご遺体を解剖することに対して段々とイメージが湧いてきました。そして、解剖初日には予習を入念に行い、初めての解剖に臨みました。

解剖実習自体は予習をいくら入念に行っても順調に進むことは少なく、毎日挑戦の日々でした。僕個人は運良くとても良い班員に恵まれて、最後まで有意義な実習を行うことができました。

解剖実習を終えて私が感じたことは、献体してくださった方へとこのまたもない機会を提供してくれた大学への感謝です。今回の経験はこれら抜きでは成り立つことのなかったものであり、この時期においてのこの体験は、今後私が医者を目指すにおいて、とても意味のあることであつたと確信しています。これからもこの貴重な経験を忘れることなくより一層勉学に励んでいきたいと思えます。

この度はご献体くださった方々、およびご遺族の皆様深く感謝申し上げます。

三か月間の人体解剖実習を通じて、人体の基本的な構造への理解を深めたとともに、その複雑さや繊細さ、多様性について学ぶことができました。実際の人体の構造はいつも模範通りではなく、授業で学んだ様子とは異なる構造を実習で多々観察しました。その度に一人一人には個性や多様性があり、一人の命を相手にしているということを強く実感しました。実際に自身の手で解剖を進めるということは解剖学への理解を深めるだけでなく、命の尊さと向き合い、医師になる身の覚悟を改めて持つために重要で、とても貴重な体験でした。

今後さらに医学を勉強する上で、人体の構造はすべての基礎になり、この実習で学んだ命を扱う医師としての心構えは将来の自分を形作る大事なものとなります。私は、歯学や医学の発展を願うご献体いただいた方々の期待に応える責任があることを深く胸に刻み、このご恩を返せるよう今後とも精進してまいります。

初めに、献体してくださった方及びそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。そして医学の未来のために献体するという決断をしてくださった献体の会の会員の方々のご厚意に感謝いたします。この度は大変貴重な機会を提供していただきありがとうございます。

今回の解剖実習を通じて、私は痛感したことがあります。それは実際に自分で解剖することの重要性です。最初は講義や教科書で十分に人体の構造について理解できると慢心していました。しかし実際には講義や教科書の通りになっていないこともかなりあり、自分の目で見ることの大切さを感じました。講義や教科書では想像で補うしかなかったのに対して、実際に解剖を行うことによって、自分の目で見てそして自分の体と対応させることで一層理解が深まりました。

今回の実習ではとても多くのことを学びました。これから良い医者になるために献体してくださった方々とそのご遺族の方々への感謝を一生忘れることなく、そして医学の道を志す者としての自覚を常に持ち精進して参ります。この度は本当にありがとうございました。

解剖学の授業として献体してくださった方の解剖を行いました。とても勉強になることが多く、献体してくださった方には感謝しております。

この解剖学の実習でとてもありがたかったことが二つあります。それは、実物を見ることによりより深い知識を身につけることができたことと、この実習を通じて医学生としての自覚を養うことができたことです。

この授業が始まる前までは、座学で小さな細胞のことをはじめ、人の体の構造や仕組みなどを学んできました。それらを学ぶことによつて医学の知識をみにつけることができました。しかし、教科書などを使って勉強をするため体の構造は写真でしか載っておらず、あまり詳しくはわからない状況でした。しかし実習では自分の見たいところを見ることができたのでとてもためになりました。

また、ご遺体を実際に解剖したことで、医学生としての自覚が生まれました。今までは一般科目などを勉強することが多く医学生であるという実感はなかったのですが、今回の実習で実感がわきました。

献体をしてくださった方には感謝してもしきれません。本当にありがとうございます。ございました。

はじめに、献体をしてくださった方々と、そのご遺族の方々に深く感謝を申し上げます。解剖実習を通してこの実習が将来医師になる上で不可欠なものであることが強く実感されました。

人体の構造はすべてが教科書通りというわけではなく、ご遺体によっても違いがありました。自分たちの手で解剖を行い、器官などを観察することで、教科書や講義から学ぶ以上に人体の構造に対して理解を深めることができました。人体解剖学実習によって学んだことはこれから医学の勉強を進める上での強固な礎となったと感じております。

また、実習を通してこれから人間の命を相手にしていく職業に就くという自覚が生まれました。このような貴重な機会を与えてくださり本当にありがとうございます。ございました。医学の発展のために献体をされた方々の崇高なご遺志に感謝し、これから医学の勉強に励んで参ります。

改めて、献体してくださった方々のご冥福をお祈り致します。

はじめに、本学の人体解剖学実習のために献体してくださった皆様、ご遺族の方々に心より感謝申し上げます。本実習は自身の中で二つの感情と向き合う大変有意義な経験となりました。

まず、解剖を進めていく中で、人体への畏敬の念を強く抱くようになりました。体の構造一つ一つには意味があり、それらが複雑に組み合わさり精密さを保つことで、初めて役割を果たしていることを眼前にし、その崇高さに感銘を受けました。また、構造をひらき詳しく観察する過程で、その脆弱性を目の当たりにし、医師にとって手技の正確性や繊細な感性が肝要であることを実感しました。生涯学習を継続し、スキルや感性を磨いていくことを決心しました。

二つ目に、自身の判断でメスを入れ解剖を行う経験により、医師になる責任感を強く自覚しました。幼い頃に医学に関心を抱いて以来、座学を通して医の倫理を学び、思いを巡らせてきました。しかし、本実習は人間を相手に治療することへの責任感や道徳について真剣に向き合う、これまでの学習とは全く異なる経験となりました。

自分一人では実現できないかけがえのない経験を可能にしてくださいました皆様に重ねて感謝申し上げます。

初めに、我々が解剖学実習を行うにあたり献体してくださった方々、またご遺族の皆様をはじめとした、この機会を設けるために協力してくださった全ての方々に感謝を申し上げます。

人体解剖は、自身にとって医学への興味をそそるものである反面、非常に複雑で難しい側面も持ち合わせていました。座学で得た知識を実習に活かそうとしてもなかなか構造をイラストと図式で対応させることができず、無力さを痛感することもありました。しかしそこで諦めることなく、人体の構造を理解するために自分の頭と手先を最大限に活用して丁寧に実習に取り組んできました。この実習を通じて、自分は真摯に命と向き合う姿勢こそが、医学を学ぶ上で非常に重要であることを学びました。また、献体してくださった方々に精一杯報いるために勉学に勤しむという、医療従事者として命と向き合うにあたり欠かせない責任感を学ぶことができました。

他にも、今回の実習で得られた知識や心構えは、これから医師の道へと進んでいくにあたり大きな原動力となりました。重ねて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

初めに、献体してくださった方々およびご遺族の方々に心より感謝申し上げます。皆様のような方々がいらつしやるからこそ、解剖実習という貴重な経験ができること、強く認識しております。

実習では、座学だけでは得られない知識を得ることができました。実習前には、毎回実習手順を確認し、教科書で配置や部位名を覚えしました。実習時には、前後関係などの立体的な配置を理解でき、教科書では省かれていた複雑な部分やご遺体ごとに異なる構造も確認することができました。これにより人体の構造についての知識が定着し、立体的な配置が明確に理解できるようになりました。実習を通じて解剖学に関する、より深い知識が得られ、貴重な経験となりました。また、人々の命を助けるために解剖をするという、実習の意義を認識することができました。実習で得たこれらの知識と経験を生かして、今後も勉強に励み、社会に貢献できるように頑張ります。

改めて、献体してくださった方々およびご遺族の方々、大変貴重な学びの機会を提供していただき、本当にありがとうございます。

はじめに、献体してくださった方々、ご遺族の方々に解剖実習という貴重な機会を与えてくださったことに深く感謝申し上げます。

二年生になり、本格的に医学を勉強していく中で始まった解剖実習でしたが、始まる前は、自分に務まるのだろうかという不安がありました。しかし、献体をしてくださった方々、遺族の方々が私たちを信じ、託してくださったので誠心誠意、積極的に学んでいく姿勢が大事だと気付きました。実習を行う中で、実際の体の構造は、教科書や本で描かれているものとはかなり異なることに驚きました。教科書を見て学んだ気になっていたものが、解剖実習を通じてより理解が深まりました。また、人の体の構造、機能の精密さを目の当たりにし、生命の尊さを強く実感しました。

解剖実習が始まる前は「医学」や「医師」という職業は、漠然としたものですが、実習を終えて、自分はこれから人の命とかかわってゆくのだという実感と責任感がわき、心が引き締まりました。献体をしてくださった方々、遺族の方々が私たち医学生の実験を信じ、提供して頂いたこの体験を胸に、人々の幸福に貢献できる立派な医師になれるよう、日々精進してまいります。

この度はご遺体を提供いただきありがとうございました。人体解剖学実習を通じて勉強だけでは絶対に得られない貴重な経験や知識を得ることができました。

実習が始まる前は専門知識がほとんどない自分をご遺体を解剖することへの抵抗と不安をととも感じていたのを覚えております。しかし人体解剖学の講義が始まり、講義を受けて、覚えた知識が増えるにつれて、多くの疑問が湧いてきました。この疑問が増えるたびに、解剖を実際にしたいと強く感じるようになり、初めに感じていた不安を克服し、実習にチャレンジできたのだと思います。

実際に人体解剖学実習を行うと、ご遺体を解剖して初めて講義の意味が理解でき、また覚えた知識のイメージをつかむことができた機会が数多くありました。また、実際にご遺体を解剖すると、覚えたこととは異なる発見が数多くあり、これらは今後医学を学ぶ上でかけがえのない体験となるとおもいます。

改めて、この度はご遺体を提供していただき本当にありがとうございました。献体してくださった方々に心から御礼申し上げます。

初めに、献体をしてくださった方、及びご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

この解剖学実習を通して、教科書や講義だけでは理解できない体の複雑な構造を理解すること、また、講義の中で学んだ知識を定着させることができました。実際にご遺体を解剖させていただくと、教科書の写真や図とは少し異なる構造をしており人体の複雑さ、巧妙さを再認識することができました。

また、医学的な知識だけでなく、改めて将来医師になる身として、生命の尊さ、命を扱うとはどのようなことなのかを改めて確認することができました。今回の解剖学実習は、献体をしてくださった方、またご遺族の方々のご協力によって成り立っています。どのような思いで、私たちに献体をしてくださったのかを考え、献体してくださった方々の期待に応えられるようになりたいと思います。解剖学実習ができることに感謝し、献体をしてくださった方々の思いや、今回の学びで得たことを忘れず、社会に貢献できる医師になれるようこれからも日々精進してまいります。

初めに献体をしてくださった方々、およびそのご遺族の方に感謝申し上げます。

私たちはご遺体を実際に解剖することで、今まで教科書の中でしか見たことがなかった人体構造を感じ取ることができました。もちろん、教科書通りでない構造も多くあり、人によって構造が様々であることも理解することができ、大変勉強になる貴重な機会となりました。この経験は必ず将来に役立つと思います。

また、立派な医師となるうえで重要な精神的な面においても、とても意義のある実習でした。初めてご遺体を前にし、命の重さというものをひしひしと感じました。自分が目指している医師という職業には、そういう命の重みや責任がのしかかってくると思うと身が引き締まり、より一層勉学に励まなければいけないと実感しました。

この実習で学んだことや経験したことを自分の糧とし、私たちの学習を支えるために献体してくださった方への感謝を忘れずに日々精進していきたいと思えます。

はじめに、献体してくださった方々、ならびにそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

人体解剖実習を通して、私たちの身体がどのような構造をしているのかについて深く知ることができました。一般的な教科書や資料でみる身体の構造と実際との構造では異なる点も多く、マニュアル通りではなく、自分で考え、それぞれの人に適した診察や治療をする必要があるということを確認できました。

初回の授業では、どのように始めれば良いか分からないぐらい手間取っていましたが、時間が経つにつれ、具体的なイメージを持つことができ、医者としての一步を踏み出せたような気がします。

これから医学生として多くのことを学んでいくと思いますが、この人体解剖実習で学んだ多くのことを活かしながら真摯に学問に向き合い、尊敬されるような医師を目指したいと思います。

最後に改めて、献体して下さった方々とご遺族の方々に感謝申し上げます。

はじめに、献体して下さった方々、並びにそのご家族の皆様にご場をお借りして心より感謝申し上げます。

この人体解剖の実習を通じて、自分の手で実際に解剖して観察することにより、講義だけでは得られない多くのことを学ぶことができました。教科書に載っているイラストや模式図は私たちが理解しやすいように単純化されているものが多いため、いざ解剖してみると、教科書には載っていない構造があったり、個人差が多くみられたりして、戸惑う部分もありましたが、人の体の奥深さを知ることができました。また、人体の構造が本当に複雑で、この一つ一つの働きによって自分は生きているのだなということを実感することができ、とても感動しました。

この解剖学実習での貴重な経験と、献体して下さった方々への感謝の気持ちを忘れずに、社会に貢献できるような立派な医師になれるように、これから医学の勉強を頑張っていきたいと思えます。改めて、このような貴重な機会を与えて下さり本当にありがとうございます。

初めに、人体解剖実習のために献体をしてくださった方々、またご遺族の皆様
に心より感謝申し上げます。

実習前はやはり緊張や不安がありましたが、最大限学ばせていただくことが
ご献体をしてくださった方への敬意の示し方だと考え、実習時間だけでなく予
復習にも力を入れて取り組ませていただきました。実習ではイラストや図を用
いた座学だけでは上手く理解しきれなかった部分はもちろん、理解したつもり
になっていた部分も改めて深く学ぶことができました。さらに実際の構造は必
ずしも教科書通りではなく個人差もあるのだということを実感しました。また、
自分の手で直接ご遺体と向き合うという経験を通して、人の命を預かる医師と
いう職業の責任の重さを、実感をもって理解し、身の引き締まる思いです。
このような実り多い実習の機会をいただけたのも、献体をしてくださった
方々、そしてその御意志を尊重してくださったご遺族の方々のおかげです。この
実習を通して得た経験を将来医師として患者の方々へ還元していけるよう、こ
れからも努めて参ります。本当にありがとうございます。

本実習は、私たちが将来医療に携わる者として、初めて面識のない方と接させて頂く機会となりました。知識を身に着けることはもちろん重要ですが、それ以前にどのような心持や責任をもって医療人になっていくべきなのか、改めて考えさせられる大きな転換点になったと考えております。献体して下さいった方のお気持ちを無下にしないため、事前の座学での学習から実際の実習、その後の復習を含め、ご遺体に向き合う時間を一分一秒無駄にしないよう、責任感を持って取り組ませて頂きました。

近年は、優れた映像技術の発展により、学習が容易になってきております。しかし、教科書的な知識のみでは、一人一人のお体に対応することはできません。個々の人の体にはそれぞれの特徴があり、時には事前知識の通りにいかず、上手くいかないことも多々ありました。こういった難しさを感じることなど、実際に手に取らなければ学ぶことができない経験を数多く得ることができました。

最後に、献体して下さいった方、並びにご遺族の方々に、大変貴重な学習の機会を提供して下さいったことに深く感謝申し上げます。今回学んだ知識をいつまでも忘れず、全力で生かしていきたいと思えます。

初めに、献体して下さった方々とそのご遺族の方々にご心より感謝申し上げます。教科書や紙の資料では到底学ぶことの出来ない多くの知識を得ることができ、今まで学習してきた内容をより深く理解することが出来ました。資料を通して思い描いていたものと実際は異なっていたり、剖出の難しさに苦戦したりと、実習を行う上で思い通りに進まなかったことが多くありました。これらは医学を学んでいく過程でとても大切な気づきであり、今後精進していかなければならないと強く感じ、将来医師を目指すものとして必要な覚悟を再確認することが出来ました。このような機会を下さり深くお礼申し上げます。

まだまだ未熟で医学の一部しか学んでおりませんが、今回の解剖学実習は間違いなく今後の学習の礎となり、様々な形に応用し活用することになります。そして、一生涯忘れられない経験・役に立っていく経験であると強く感じております。この御恩に報いることが出来る様に、医学の勉強に一生懸命励み、弛まぬ努力を重ね、医師として社会に貢献していきたいです。

まず初めに、献体をしてくださった方々とそのご遺族の皆様深く感謝申し上げます。

解剖を経験して感じたことは、知識として学ぶだけでは人体の理解は難しいということです。教科書に載っている実際に撮られた写真を見ても、自分たちが解剖して観察できた構造と一致しないことがあるのは驚きでした。これは、医療においては基礎となる知識の習得だけでなく経験の積み重ねも重要であることや、個人差を必ず考慮に入れなければならないことを示していると思います。自分が実際に医師となった際には、個人個人に真摯に向き合うことを心に留めようと思いました。また、医学の発展や私達の成長に期待を持って献体をしてくださった方々のおかげで、実習が行えていることを実感しました。これからも、人の命を救うことができる医師となれるよう多くの人に学びの機会をいただいていることを忘れずに、それに値する医師となるために努力したいと思います。

最後に、改めて今回の実習に協力してくださった方々に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました。

初めに、人体解剖学実習のために献体して下さった方々、そしてご遺族の方々、誠にありがとうございました。

実習前は、本や講義などの座学で人体について学び、分かった気になっていましたが、いざ実際にご遺体で解剖してみると、分からないことばかりで、いかに教科書が色分けなどで分かりやすく表示されているのかを痛感させられました。

毎回の実習前に行う黙とうで目の前の方がどのような思いでご献体して下さったのかを考えたことで、医学生としての自覚が強まり、より一層勉学に励まねばならないと感じました。また、模型ではなく実際にヒトを目の前に行うことで将来医師として背負うことになる責任感を、医学を学び始めてまだ短い時期に少しでも感じる事ができたことは、かけがえのない経験となりました。

今回の実際に解剖してみても将来診るべきは病気ではなく人間であるということを再認識するようになりました。人々の幸福に貢献できるような医師になれるよう、日々励んでまいります。

初めに献体してくださった方、ご遺族の方、その他献体に関わってくださいった方に感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。我々が医学を学んでいくにあたって、知識を得るだけでは触れることが出来ない部分に、ご遺体を解剖する実習を通して触れることができ、人体に対する理解を深めることができました。それと同時に、より一層医者これからなる身としての責任感を強く実感することが出来る素晴らしい機会ともなり、一生忘れることができない貴重な機会となりました。このような貴重な機会を頂くことが出来たのは、献体してくださった方やご遺族の方、その他献体に関わってくださいった方の協力があったのでした。

これからさらに医学を勉強していくにあたって、今回の実習で得ることの出来た経験を活かし、勉強に励んでいきたいと思えます。最後にはなりますが、この度は医学の教育や研究のために献体をしてくださり、本当にありがとうございました。

初めに、献体してくださった方々、並びにご遺族の方々に心より感謝申し上げます。私は、ご遺体を解剖することも、触れたことすらありませんでした。そのような私にとって、今回の実習はご遺体に向き合う数少ない経験であり、学びの多いものでした。

まず、実習により学習の意識が大きく変化しました。学んだ内容を実際のご献体で感じる事ができる機会はとても貴重なものでした。それと同時に、ご献体に触れる中で、私たちはこれから「人」と向き合うのだということ強く感じました。一人ひとりの人生の一端を担っており、人の命を預かる立場であることを心に留めようと思いました。

また、人体に対する理解も実習を通じてさらに深まったと感じております。実際に見てみると、自分の理解と異なっていたり、自分の理解が不足していると感じたりすることが多くありました。学習している内容を、紙面上に留めず、実際に生かせる学びにしなければならぬと実感しました。

献体にご協力いただいている皆様のおかげで得られた多くの学びを心に刻み、精進してまいります。改めて、このような貴重な機会を与えてくださった皆様、ありがとうございました。

はじめに、献体して下さった方々とそのご遺族の皆様へ深く感謝申し上げます。みなさまのご理解により、解剖実習という非常に貴重な学びの機会を得ることができました。

医学の勉強ではまず体の基本的な構造を学びますが、イラストや写真などの平面から得られる情報では、理解しきれないことが非常に多いです。しかし実際に体の中を拝見することで、座学で学んだ断片的な情報をつなぎ合わせ、多くのことを理解できたと思います。

また、解剖実習を通して医療者になるという自覚がより確固なものとなりました。座学で学ぶものが実際に人体に存在することを確認でき、自身が今後人体を治す仕事をしていくのだという決意が生まれました。実習ごとに命を扱っていることに思いを巡らせ、決意を新たにしました。この思いを忘れずに、社会へ貢献できる医師となるよう一層精進していく所存です。

改めまして、このような貴重な経験のためにご遺体を提供して下さったことに深く感謝申し上げます。

はじめに、解剖実習のために献体をしてくださった方、またそのご遺族の方に心より感謝申し上げます。

人体の構造はとても複雑で、教科書を見ているだけでは深い理解は得られない中で、解剖実習という実際に自分の目と手で確かめるという経験は本当にかげがえのないものでした。もちろん、教科書の図と異なることが多々あり、神経・血管・臓器などを判断するのは決して簡単なことではなく、人体の構造の複雑さに悩まされる日々でしたが、新たな発見も数多くありました。これらの発見は実際にご遺体を解剖させていただいたから得られたものであり、これから必ず役に立つものだと実感しています。

解剖実習を通して、医学の実習は多くの方のご協力があってこそ成り立っているものなのだと痛感しました。この解剖実習で得た知識や経験を、将来医師となった時に生かせるよう、より一層努力していきたく思います。

改めまして、このような貴重な機会をくださった方々、本当にありがとうございます。

私は、ご遺体を解剖させていただいたことで、紙面上での解剖の知識が脳内で複合的に結合し、より深い理解をすることができたと感じている。例えば、臓器の位置関係は紙面上では理解しにくいですが、実際にご遺体の臓器の位置関係を見ることで立体的に各器官や組織の配置を理解することができた。さらに、肝臓や肺の組織を解剖する際など、自分で手を動かすことによって組織の構造を理解するということも非常に貴重なことであった。

また、献体してくださった方々一人一人の体の構造は全く異なり、筋の大きさや血管の太さといった体格の違いだけでなく、器官や組織の位置関係でさえも異なることを知った。一人一人の体の構造が異なるということは、それぞれ異なる疾患の治り方をしたり、異なることに気を付けて手術を行う必要があったりするということである。このことを、身をもって実感することは、今後ヒトの一般的な構造を勉強していく中でも、個人によって差はあるということとを常に頭の中に置いた状態で理解することが必要であると感じさせ、また、その差が医療において非常に大事で忘れてはならないことであることを痛感させてくれたと感じている。

まず初めにこのような貴重な機会をご提供いただいた、ご献体してくださった方々、ご遺族の方々にこころより感謝申し上げます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

私は今回の解剖学実習を通して、医師になるという確固たる自覚が芽生え、また人体の構造について深い理解ができました。

実際にご遺体を解剖し、教科書などではわからないような実物の質感や色、形、そして異なった血管や神経の走行などを観察することができました。このような経験は解剖学実習を通してでしか学べない貴重な経験でした。人の体の構成をしっかりと深く理解することができました。この理解はこれからの医学の学習の根底になるものであり、医師になった際、必ず活かしていこうと思います。

そして、医師になる際に必須となる倫理観も身についたと考えています。仲間とともに命を扱い、生命の神秘に触れる大変密度の濃い機会でした。

この実習を通してさらに医学の学習への意欲が増しました。改めてこのような機会を提供してくださったすべての方々に心より感謝申し上げますとともに、その方々の期待に応えられるよう、私自身努力を続けていこうと思います。

献体してくださった方々、ご遺族の方々、献体の会の方々に深く感謝を申し上げます。この度は私たち医学生にかけがえない学びの場を提供していただき、本当にありがとうございました。

この解剖実習を通して、私は多くを学び、認識しました。人体のしくみが複雑かつ精巧であること、また個体差があり、必ずしもみな同じではないこと、教科書など書籍で理解したつもりが実際は違っていたことなどです。

私が受けた解剖学の講義では、解剖実習の手順や術式がこのように定まるまでに、先人の多大なる努力があったことを知ることができました。今実際に解剖実習を修了し、実習中に身につけたさまざまな知識を大切にし、一人ひとりに対して真摯に向き合う医師になるという覚悟を新たにしました次第です。

最後になりますが、献体してくださった方々、ご遺族の方々、献体の会の方々に、我々医学生にかけがえない学びの場をご提供いただいたことを、改めて感謝いたします。

初めに、今回の解剖学実習のために献体して下さった方、及びご遺族の方々に感謝申し上げます。

この実習では講義や教科書だけでは知ることのできない人体の構造の複雑さ、人体の神秘さを深く学びました。教科書で別々に記述されている血管などの体系的な繋がりを実感し、紙面上では知ることのできない大小関係や位置関係、また質感、触感などを大いに学ぶことができました。

特に感動したことは、人体の神秘さについてです。人が生きるに当たり必要な機能、構造がこのような小さな身体に凝縮されていること、またそれが現時点で人にとっても最適なものであるという発見、驚きでした。

この解剖学実習を通じて医師になりたいという気持ちがより一層強くなりました。これからも医療者のひとりとして様々な勉強に真剣に取り組み、患者さんを安心させられるよう、深い解剖学的な知識を持つ総合的な医師になるために精一杯努力していきたいと考えております。

人体解剖学実習はかなり貴重な体験でした。献体してくださった方やその遺族の方々の、ご厚意なしでは実現できないことだと実習のたびに身を引き締める想いで臨みました。実習を通して、医学の学びはもちろん計り知れないものでありましたし、人体解剖学実習という、歴代の先輩方（医療の現場で働かれる方々）も医学生時代に実習に臨まれたであろう体験を、共有することができて、より医療に対して現実味のある尊敬の念を抱くことができたと思います。

その想いを胸に今まで以上に医者として社会に貢献したいという気持ちを強く持つことができました。これからの医学の勉強は、この実習で得たよりリアルな知識と、医学に向き合う姿勢を持って臨ませていただきたいと思います。

最後になりましたが、人体解剖学実習に協力してくれた、献体をしてくださった方、そして遺族の方々、献体の会の会員の方々には感謝を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

私は、二か月間の解剖学実習を通して人体の構造の複雑さを痛感しました。

初めての实習では、器具を上手く使うことすらままならず、更には解剖学を学び始めてから日が浅く、基礎的な知識も十分身に付いていないということもあり一つの神経を見つけ出すことに膨大な時間を掛けているような状態でした。この日、自分がこれまでしてきた学習はなんと不十分であったのかということ を思い知らされ、人体がこれほどに複雑なのであれば自分はこのままで本当に医師になれるのかと思ひ悩みました。

しかし、その後の実習では同じ実習班の仲間とともに協力しながらしっかりと予習し、また実習内でも他の班の班員に相談したり、先生に質問をして教えてもらったりしながら少しずつスムーズに進めていけるようになりました。そのような中でも、献体してくださった方、そしてそのご遺族の方の意志を無駄にははいけないという気持ちで細かな構造の一つ一つも見落とさないように実習に取り組みました。

解剖学実習を通じて、医学生としても、人としても大きく成長することが出来たと感じています。献体してくださった方、そのご遺族の方への感謝を胸にこれからも学習に励みます。

初めに、献体してくださった方及びそのご遺族の皆様、人体の構造の理解のための実習という将来医療に従事するにあたって非常に重要でかつ得難い経験をさせていただき心より感謝申し上げます。

解剖学実習では、教科書の文章や写真では理解しやすいように省略されている人体の構造が実際はどうなっているのかについて理解でき、これらがすべて教科書に書かれている通りの構造をしていないのだということから、将来医療に従事する際も患者さん一人一人に丁寧に向き合う必要があるとより強く感じました。また今回の実習では、人体の構造について理解するということだけではなく、命について深く考える機会という意味でも非常にありがたい経験をさせていただきました。これらは献体してくださった方がいらっしゃらず座学のみで学ぼうとしては決して得られなかったものです。

解剖させていただいたことやそこで学んだことを忘れることなく、献体してくださった方やそのご遺族の方々に恥じることはない医師になります。

初めに、献体してくださった方々とそのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。

人体解剖学実習は私たちが座学を通して学んできたことを、ご遺体を実際に解剖することによって改めて再確認し、さらに深い理解を得るためのものであると自分なりに考え、学びの機会を最大限活かすため努力して参りました。座学では学ぶことのできない臓器の立体的な位置関係や組織の感触など、実際に人体に触れることで多くの学びを得ることが出来ました。また、教科書では学べない、実際に生きてきた方々だからこそ存在する個人差なども実際の経験を通して学ぶことが出来ました。

改めて、私たちに学びの機会をくださった方々とご遺族の方々に心より感謝申し上げます。我々医学生の学びはさまざまな方々のご理解とご協力によって成り立っているということは決して忘れてはならないことであり、これから先の学びの中でも感謝の気持ちを忘れずに邁進して参りたいと思います。

初めに献体してくださった方並びにそのご遺族の方に深く感謝申し上げます。医学の勉強を始めたばかりの私たちにとって、この解剖学実習が生きていた実際の人のお体に向き合う初めての機会でした。最初は緊張しましたが、この貴重な機会を決して無駄にしたいくないという思いで、計十三回の実習に取り組んでまいりました。人体がとても精緻な構造を有していることを自分の目で見て学び、この精緻な構造を複雑に相互作用させながら生きているということは、なんと素晴らしいことなのだろうと、命の尊さを実感しました。それと同時に医師とはこのような尊い命と向き合うことであると痛感し、人の命を扱う責任の重さを感じるとともに、その責任を全うできる医師になるという決意を新たにしました。

献体してくださった方とそのご遺族の方のご厚意によって学びの多い実習を行うことができました。このような貴重な機会をいただけたことに対して、改めて心より感謝申し上げます。この経験を糧とし、かけがえのない患者さんの命と向き合える医師になれるよう、精進して参ります。

はじめに、人体解剖実習のために献体をしてくださった方々に心から感謝するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

解剖実習は、本学においては二年次前期から行われており、一年次の教養課程を終えて本格的に医学に取り組んでゆく初めの授業の一つです。その為、黙祷を終え献体してくださった方々の姿をはじめて目にした時、私たちは医療者として責任と覚悟を持たなければいけないのだと、改めて自覚する大きな出来事でした。

教科書を参照しつつ解剖を進めていくなかで大きな学びとなったことは、各々の身体が教科書通りでないことも多いということでした。そのためこの度の実習は、私たちは患者さん一人ひとりに向き合いながら医療を提供しなければならぬのだと再認識する機会となりました。

人体解剖実習を終え、私は我々医学生学習は多くの方々に支えられていることを強く実感しています。この度得ることのできた貴重な知識と経験を十分に活かし、将来社会に貢献する医師になれるよう努力してまいります。献体してくださった方々、ご遺族の方々、本当にありがとうございました。

初めに、この度は献体してくださった方々、並びにそのご遺族の方々に心から感謝いたします。

人体解剖学実習では、座学で学んだような構造や組織を実際にご遺体で確認させていただくことで、解剖学の知識をより定着させることができました。

一方で、教科書や手順書で予習して実習に臨んでも、なかなか理想通りの解剖ができないことが多々ありました。正しい道具の使い方細かい作業を行うことや、実習中絶えず集中力を切らさないことが重要であると同時に、非常に難しいことであることを、身をもって学ぶことができました。

加えて、人体解剖学実習を通して医師という職業が命に向き合う職業であることを認識し、責任感を持ってこれからも医学生として精進していこうと思いをしました。

人体解剖学実習における経験は生涯忘れることのないものだと思います。本実習で得た知識や経験を活かしていきたいと思えます。改めて、献体して下さった方々とそのご遺族の方々に感謝を申し上げます。

献体をしてくださった多くの方々の協力を得て、無事に実習を終えることができました。一年生では教養科目を中心として行っていたため、今までは医学をほとんど学んできませんでしたが、二年生になり五月からご遺体を解剖させていただいたため、私が医師になるということを実感するとともに自覚する貴重な時間になりました。

実習が始まって最初のうちは不安がとても強かったですが、実習を共に行った仲間や先生の協力もあり、徐々に不安がなくなり、集中して実習に取り組むことができました。人間の体は私が考えていたよりも非常に複雑でした。実習の前には単語試験があり、そこで実習に関係する単語を体内の図や写真を用いて勉強するのですが、図や写真でみていた人間の構造と実際に解剖をして人間の構造は一見違うように見えました。それでも探していた構造を時間はかかりましたが見つけ出した時は確かに写真で見たものと同じ構造をしていました。そして、写真で見ていたものを実際に自分の目で見ることで知識の定着することができます、自分が成長することを実感することができました。

献体してくださった方とご遺族の方々には本当に感謝しかありません。ありがとうございました。

はじめに献体してくださった方々やご遺族の皆様へ心より感謝申し上げます。私たちは医学生として、貴重な機会を与えていただきました。解剖実習を通じて、生命の神秘さと尊さを改めて噛みしめることができました。

人体解剖学実習によって臓器や組織の構造や機能といった科学的知識を学ぶだけでなく、人間の複雑さと繊細さを深く理解することができました。また、あらかじめ学習していた構造が目の前に現れたときの感動や、想像もしていなかった異なった構造を観察できたことは、私たちの学びを深める貴重な経験でした。

これからの医師としての道の中で、献体者の方々から学んだ感謝の気持ちを胸に刻み、誠実な医療を提供できるよう努力いたします。病気や痛みを抱える患者さんたちに寄り添い、最善のケアを提供する使命感と責任感が、私の心に芽生えました。

最後に献体していただいた方々、そしてご遺族の皆様へ、心からの感謝の意を表します。生涯このご恩を忘れず、医師としての道を歩む中で、その恩を返すことができるよう努力し続けます。

まず、献体してくださった方、並びにご遺族の方に深く感謝申し上げます。

実習では、アトラスや教科書の図などでは学べないことが多くありました。紙面ではその性質上、二次元かつ理想的な構造しか理解することができません。また、自分の中でのイメージを作ってしまうこともありました。実習を通して、立体的な位置の把握、大きさ、形などを観察することができました。細かな構造の一つ一つが連携し人は生きていていると思いをはせ感動し、図ではない本物を見ることの大切さを実感しました。

また、医学生としての自覚を改めて奮い立たせられました。実習を行う際の緊張感は何物にも代えられません。献体してくださった方の生前を実習中にふと考えることもありました。ご遺体を解剖しているという意識を持つことで、生命の尊さも学ぶことができました。

これらのことは、実際に自分たちの手で解剖させていただくことでしか得られない学びであると思います。このような貴重な機会を下さったことに改めて感謝するとともに、医学生としての意識を持ち精進してまいります。

人体解剖学実習で実際にご遺体を解剖して強く感じたことは、教科書に載っている図と実際の構造はかなり異なるということです。特に色や質感などはご遺体を解剖して初めて分かることだと思います。教科書で予習してから実習に臨んでも、目の前にある血管や神経などが何かを特定する事が難しい場面も多々ありました。教科書通りの構造をしていることはむしろ稀なのではないかと思いました。また、ご遺体によってとっている形態が異なるということも強く印象に残りました。当然のことかもしれませんが、実習前は教科書の図のイメージしか持っていなかったので、各々が多様な形態をとっていることに驚きました。複数のご遺体を比較することでも大きな学びを得ることができました。

最後に、人体解剖学実習という大変貴重な機会を与えてくださり、心から感謝申し上げます。この道に進まないと得られない貴重な経験を、今後の学生生活や医師として働く時に存分に活かしていきたいと思えます。

初めに、献体をしてくださった方々に心より感謝申し上げます。

僕は医学部といったら解剖というイメージがあり、医学生としてできる限り多くの学びを得たいと思っただけで解剖実習に臨みました。ただ、解剖実習が始まる前は、人体の構造を理解する上で必ず必要な学びだと思っただけで、漠然とした怖さや不安がありました。しかし実習が始まると、そのような不安感は消え、人体が普段教科書やイラストで目にするものとは大分異なることに興味を惹かれました。そして、実際のご遺体から学ばせていただくという解剖実習の意義を感じると共に、医学の発展と私たちの学びのために献体をしてくださった方々への尊敬と感謝の気持ちがより強くなりました。献体をしてくださった方々への恩返し、そしてその思いを受け継いでいくためにも、この実習の経験を活かして様々なことを学んでいくことが重要であると考えています。そして良い医師となって世の中に少しでも貢献できるようになることこそが、献体してくださった方々の意思であると考えております。これからも医学生として精進してまいります。本当にありがとうございます。

解剖学実習の感想を述べるのに先立ちまして、献体して下さったすべての方のご冥福をお祈りするとともに、献体して下さった方とそのご遺族の方に深く感謝申し上げます。医学という道に足を踏み入れて間もない身ではありますが、命の尊さや、献体して下さった方の思いをしみじみと感じ、たいへん身の引き締まる思いが致しました。

医学科第二学年の課程においては、人体解剖学という科目の中で人体の構造について学習いたします。私にとって人体解剖学実習は実際に人体がどのような構造をしているのか深く理解する大変貴重な経験となり、また私自身の医学へと歩む道は、献体して下さった方をはじめ、沢山の方々のご支援、ご協力によって成り立っているものであると実感致しました。今回の人体解剖学実習で勉強させていただいたことを含め、これまで、これからの医学生としての学びをより多くの方々に還元し、この国のより良い福祉に貢献できるような医師になれるよう日々研鑽を積む所存であります。

改めまして、献体して下さった方、ご遺族の方をはじめ、解剖学実習にご協力いただいた全ての方に感謝申し上げます。

初めに、解剖学実習のために献体をしてくださった方々、その家族や親族の皆さんに深い感謝の気持ちを申し上げます。

解剖学実習は解剖学を学ぶ上で非常に有意義な機会になりました。人体の構造を、ご遺体を解剖させていただいて確かめることで、座学では得られない知識や経験を得ることができました。特に、実際のご遺体を解剖する中で、頭の中で想像していた人体のイメージと実際の人体の構造が大きく離れていることにも驚きました。そして、実際のご遺体から学ばせていただく解剖学実習の重要性を強く感じました。

また、この解剖学実習を通して、医学を学ぶことは、多くの方々の助けを受けなければ成り立たないということもより一層強く実感しました。未熟な医学生ですが、将来、一人前の医師になれるよう、この解剖学実習で得られた経験を忘れず、より一層努力を重ねていきたいと思えます。

最後に、改めて献体をしてくださった方々、ご遺族の方々に、重ねて深く感謝を申し上げます。

人体解剖学実習を通して深く学べたことは、人の体を扱う難しさと重さでした。慣れない作業に、初めて肉眼で見る種々の構造に対する戸惑いや必ずしも教科書通りとはいかない人体の神秘というような、本物の肉体を通してのみ気付ける難しさを学ぶことができ、同時に人の体を扱う医学という領域の困難さの一端に触れることができたように思います。また、その学びの機会を与えてくれたのは私達のような学生のために献体をしてくださった方々のおかげであり、実習を通して献体をしてくださった方々からの信用と期待に心からの謝意と敬意を感じると同時に、献体をする決心をしてくださった方々やそれを許可してくださったご遺族の皆様のお気持ちの有難さと尊さは無二の物であり、それを受け取る私達の責任の重さというものを強く自覚しました。

最後になりますが、私達が実習を行うにあたって様々な面で助けてくださった皆様方、そしてなにより献体をしてくださった方々とそのご遺族の方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

まず、ご献体して下さった方およびご遺族の方々に心より感謝申し上げます。人体解剖実習を通して、教科書などの資料を通して学ぶだけでは決して得ることのできない非常に多くのものを学ぶことができました。

この人体解剖学という学問への理解をおおいに深めることができましたとともに、忍耐強く作業する力や周りの人体解剖を共にした仲間と協調して作業する力を養うことができました。また座学で学んだ血管や神経、筋肉などを見つけることができたときには、ささやかな喜びを感じることができました。解剖学実習が大変私たちの身になったと実感しております。

最後に、まだまだ医学について未熟であり、これからどのようなことを学んでいくのかはまだわかりませんが、解剖させていただいたこと、そして解剖を通して学んだことを糧にして、社会に貢献して良い医師を目指してより一層精進して参ります。繰り返しになりますが、私たちが解剖し学ぶことができたのは献体して下さった方々のおかげです。ご献体して下さった方々、ご遺族の方々に重ね重ね御礼申し上げます。

はじめに、献体してくださった方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。そして、献体して下さった方々及びご遺族の方々に心より感謝を申し上げます。

私にとって今回の人体解剖実習は大変意義のあるものでした。これまで私はざっくりとした、模式図的な理解でしか人体の構造を捉えられていませんでした。大学に入ってからの勉強でも教科書の図による平面的な理解でした。それらの理解も重要ですが、いざ実習でご遺体を解剖すると、驚きと感嘆の連続でした。臓器などの配置や大きさはそれまで持っていたイメージとは別物であり、また人体の構造はこれほどまでに精緻なもののかと思われるもので、人体の構造に対する三次元的な理解が深まりました。

また、目の前のご遺体が医学の発展を願う尊い志の下に献ぜられたものであるということ意識するたびに、そのご遺志を継がねばという思いと自らに期待された使命、それに応える責任の重さを実感し、医学を志すものとしての覚悟がより強固なものとなりました。

最後になりますが、このような貴重な経験の機会を提供して頂きありがとうございます。この経験を基に今後も立派な医師になれるように精進して参ります。

はじめに、献体してくださった方々とそのご遺族のみなさまに心より感謝申し上げます。みなさまのおかげで、貴重な学習の機会を得ることができました。

教科書や、アトラス、講義だけでは学ぶことのできない多くのことを、解剖実習を通して学ばせていただきました。講義などを通して身に付けた知識を、目の前にあるご遺体を通して、実際にどれとどれがどのように関わっているのか、位置関係はどうか、など特に構造的なことを体系的に学ぶことができました。実習における新たな発見や気づきはかけがえのないものとなりました。

また、私が実習を通して最も痛感したことは想像していた以上に手技が難しいということです。はじめは講義の内容と構造に関する知識が頭に入っており、手順書の内容を把握していればできるものだと思っておりましたが、まったくそのようなことはありませんでした。この経験により、改めて医師に尊敬の念を抱き、医学生として気が引き締まりました。

改めまして、献体してくださった方々とそのご遺族のみなさまに心から感謝申し上げます。今回の経験を忘れず、立派な医師になれるよう、精進してまいります。

小学生の夏、メラメラとひりつくような日差しの下でのプール前のシャワー。蒸し暑い気温の中、授業を受けたあとに全身に浴びるあの冷たさ。それはうたた寝を催すような微睡から無理矢理覚醒させるような衝撃とプール実習への洗礼を伴ったものでした。この感覚をしばらく忘れていましたが、人体解剖実習で久々に思い出しました。それは普段我々がオンデマンドや zoom で受けていた座学では味わえないような医学へのさらなる期待と、今まで座学でしか触れてこなかった人体の神秘さと人体を扱う職業であることの責任感からくるものです。まさに実際にご遺体を包む生が静に変化したことによる衝撃と将来医療人として働くことの自覚を芽生えさせるという意味での洗礼を、プール実習前の天から地に貫く極寒のシャワーのごとく味わいました。人体解剖実習から学んだこの天から地まで、頭からつま先までの神秘さを忘れずに自分のものにするため噛み直し、これからの未来の医療に還元していきます。遺族の方、献体の会の会員様方、この上なく貴重な経験を誠にありがとうございます。

はじめにご献体をしてくださった方とそのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。

百聞は一見にしかずという言葉がありますが、実際に遺体を解剖する経験は、どんな教科書や画像・映像を見るよりも、貴重な学びを得られるものであったと感じます。何よりシンプルな解剖学書とは異なり、実際の人体の構造は複雑であり、さらに個人差が大きいことを知れたことは今後の学びの糧になると考えます。

私たちは解剖実習を約三ヶ月に渡って行いましたが、毎回の実習の初めには黙祷を行います。ご遺体の解剖は綺麗なご遺体の形を変えてしまうため、私は心のどこかで躊躇する気持ちを抱えていました。しかし、献体してくださった方のご遺体から、学べるだけの知識を吸収するのが務めであるように感じ、黙祷を捧げた後は目の前の学びに集中することに決めていました。

この経験をずっと忘れずに医師になるために知識をつけ、社会に貢献していきたいと思います。

初めに、ご献体してくださった方、ご遺族の方、並びに人体解剖学実習にご協力してくださった全ての方に深く感謝申し上げます。

この実習を通して、実際に自分自身の目で人体の構造を理解するといった貴重な経験をさせていただきました。私はこの実習に臨むにあたって、常に献体して頂いた方に失礼のないよう実習手順を予習し、教科書や資料を用いて再現性を高めることを怠らないよう努めてきました。実習前は自分が本当に進められるのだろうか不安な気持ちに駆られていましたが、実習では班員と協力し、助け合っていくことで様々な人体の構造を理解することが出来ました。しかしながらそれと同時に、必ずしも教科書で学んだ通りに人体の構造は存在しておらず複雑であること、実際に剖出を行うのはとても難しいことを実感し、多くの学びを得ることが出来ました。

この貴重な経験を胸に、社会に貢献する医師になれるようより一層精進してまいります。再度になりますが、この実習のためにご献体してくださった方、ご遺族の方及びご協力してくださった全ての方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

初めに献体してくださった方々、ご遺族や関係者の方々をはじめ人体解剖学
実習に関わったすべての方に感謝するとともに心より厚く御礼申し上げます。

私たちは約二ヶ月にわたってご遺体を解剖させていただきました。人体解剖
学実習を通じて学んだことは主に二つあります。

一つ目は人体構造をより深く正確に理解できたことです。講義や資料などを
通して一通り知識を身につけたうえで実際にご遺体を解剖すると、複雑な人体
構造の立体配置や、それぞれの器官や組織同士の関係などをより詳細に理解す
ることができました。

二つ目は生命の尊さです。解剖を通じて特に感じたことは、人体構造は教科書
通りではなく、むしろ想像以上に多様であることです。人類が様々な環境に対応
して生き残るために豊かな個体差を持っていることを再認識し、そこに生命の
尊さを感じました。

最後に、再びになりますお礼を申し上げます。人体解剖学実習に関わったすべ
ての方々から感謝をお伝え申し上げます。

今回、約三ヶ月にわたる人体解剖実習を通してさまざまなことを学ぶことができた。これは、献体してくださった方々や実習の際に指導してくださった教授方のおかげであるのでその方々に、まず感謝申し上げたい。

今回の実習を通して学んだことは大きく分けて、二つある。まず、実際の構造は教科書に載っている構造と大きく異なるということだ。予習をして準備をしてある程度の場所を把握していても、内臓や神経の位置が予習の内容とは異なっていて探すのに時間がかかったことが何度もあった。このことから、教科書で典型的な例を学ぶだけでなく、例外を知識として蓄えるのが今後、医療に携わっていく上で大切だと感じた。

二つ目が、実際に手を動かして確認することの大切さである。今回実習と並行して単語テストを通じて学習していたのだが、実際に自分が作業をした箇所の方が理解しやすかった。自分で見つけた血管や神経などは頭の中ですぐに浮かぶ様になっていて実習の意義を実感した。

これらのことに気づけたのは献体してくださった方々やそのご遺族の方のおかげである。重ねて感謝したい。

この度は解剖実習という非常に貴重な経験をさせていただき、誠にありがとうございました。

私はこの解剖実習を通して教科書だけでは学べないさまざまな人体の特徴について実体験と共に学習することが出来ました。特に人体の立体的な構造については驚くことが多々ありました。教科書などで学習した際には表層にあると思っていたものが、実際には想像していたよりも奥深くにあるなどです。この発見を通して正しい理解をできるようになり、将来的に手術をする際にはこの経験が人々の治療に大きく寄与することを確信しております。

また、今回の実習は私にとって初めて人体に直接触れて行う実習でした。これにより医学が実際に人々と関わり合って初めて成立するものであると実感いたしました。これにより医学生、そして将来的には医師として人々の健康を守るという自覚が鮮明なものとなり、これからの学習へのおおきな原動力となると感じています。繰り返しになりますが、この度はまことにありがとうございました。

この度は、私たち学生が貴重な経験を積むために、皆様の大切なご遺体をお借りすることができましたことを、心より感謝申し上げます。

解剖実習は、私たちにとって重要な学びの場ではありますが、それと同時に深い感謝の気持ちを持っております。ご故人と皆様がお選びになったこの寛大なご決断は、私たちが専門的な医療知識を身につけることに貢献するだけでなく、人間としての思いやりや配慮を養う大切な機会となりました。

実習を通して、私たちは人体の神秘と複雑さを知り、医療を行うということがいかに難しいかを実感させられました。医療は奇跡の連続なのかもしれません、それでも医学の知識と経験を育み、医療者一人一人がベストを尽くすことで、その奇跡をより確実なものにしていけると信じています。

ご遺体に触れることで学んだ多くのことは、私たちに医療者としての誇りと責任をより一層濃く認識させました。お亡くなりになった方のご遺志を胸に、私たちはこれからも医学の道を精一杯歩んでまいります。

最後になりますが、お亡くなりになったご故人とそこにご遺族の皆様、心よりお悔やみ申し上げます。どうかお体を大切にお過ごしください。

私たちは実習の開始時に、必ず献体してくださった方に対して黙祷を捧げます。この黙祷で、私たちは感謝の気持ちを実習生全員が献体してくださった方に対して心の中で述べています。この瞬間、私はいつも気が引き締まる思いで実習に臨んでいました。献体してくださった方は、私たちが生まれる前からたくさんの方を見て聞いて経験してきた一人の「人間」であることを忘れずに向き合うように心がけました。

解剖学実習は、座学の解剖学とは異なり「本物」を実際に触れることのできる唯一の機会です。この貴重な機会を最大限に活かせるよう、事前に班員と相談しながら実習を進めていきました。それでも、実習に難しい部分が多々あり、作業に苦戦しました。その時、なぜこの部分が外科的手術で難しいと言われているのか、などの疑問も同時に理解するようになりました。このように、基礎医学だけでなく臨床的な側面も同時に学ぶことが出来ました。

このような大変貴重な学びの機会を頂けたこと、本当にありがとうございます。この機会を通して、命に対する向き合い方も今一度熟考することができました。この経験を胸に一步ずつ医師に近づけるように精進していきます。

はじめに、献体をしてくださった方々並びにご遺族の方々に心から感謝申し上げます。皆様のおかげで私たち学生は他では得られない深い学びを得ることができました。

私は解剖実習という貴重な機会を最大限に有意義なものにしたいと思い、毎回準備を欠かさずにして実習に臨んでいました。しかし、予習の段階では写真や図を教科書の中や画面越しにみているだけであり、立体的なイメージなど調べてもよく分からない点が多くありました。しかし、その後に実物を観察すると、構造や位置関係といったものがより詳しく分かり、百聞は一見に如かずとはこのことだと深く感じました。また、実際に自分で手を動かしたことで得られた知識と経験は記憶に強く残り、このような勉強の機会を得ることができたことを感謝しました。

解剖実習のなかで得られた知識は間違いなく今後私たちがさらに医学を学ぶこと、そしてその後医師となり実際に臨床に携わることの礎になると思います。改めて、私たちに解剖実習という貴重な学びの場を提供していただき本当にありがとうございました。

この度は私たちの人体解剖学実習のためにご献体いただき誠にありがとうございます。
ございます。

今回の解剖学実習では人体の構造の複雑さを改めて深く実感させられました。
事前に教授たちが作った解説動画を視聴し、教科書を参考にしながら解剖を進
めていましたが、それでも見えている構造が何なのか、剖出したい組織はどこに
あるのか、等という基本的な事項さえもわからないことが多く、人体の内部を直
接治療することが一筋縄ではいかないことを理解させられました。また、他の班
の遺体と自分の班の遺体とを比べた際、身体の中のいたるところで様々な違い
が存在しており、一人一人にあった医療の必要性ということも強く意識させら
れました。

この実習で得た経験と学びをこれからの大学生活、及びその先の医師として
の生活でも反芻し、真摯に学び続け、皆様が誇れるような医師になりたいと思
います。最後になりますが、改めてこの度は貴重な機会をいただき誠にありがとう
ございます。

初めに、献体してくださった方、ならびにそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

四月の解剖実習説明会にて、人体解剖実習は、献体してくださった方の尊い意思のみならず、ご遺体と長期間離れることを許容し献体の意思を尊重してくださったご遺族の方々のおかげで行うことができるという話がありました。そのとき、私は改めて解剖実習ができることの有り難みを感じ、貴重な実習の機会を無駄にはいけないと強く決心いたしました。

解剖実習中も説明会での話を毎回思い起こし、たくさんのことを学べるよう必死に実習を行いました。未熟で至らない点多かったと思いますが、この実習を通じて、解剖学的な知識だけではなく、座学では決して学ぶことのできない多くのことを学べたように思います。

献体してくださった方やそのご遺族の方々への感謝を忘れず、社会に貢献できるような医師・研究者になるため、これからも努力を続けてまいります。

このような貴重な実習の機会をくださり、本当にありがとうございました。

初めに、ご献体してくださった方とご遺族の方々に、解剖実習という非常に貴重な学習の機会を与えてくださったことに深く感謝を申し上げます。

私達にとって解剖実習は初めての本格的な実習ということもあり、はじめはとても緊張していました。実際の人体は教科書で見るとはかなり異なり非常に苦戦しましたが、解剖実習を通して講義や教科書で学んだことを実際に見ることができ、人体の構造に対する理解が大変深まりました。

また解剖実習を通じ、医師という職業の責任の重さを改めて実感することができました。ご遺体を解剖することで今まで以上に真剣に命に向き合って、将来、医師として働く覚悟ができました。

将来立派な医師となり日本の医療に貢献していくことが最大の恩返しになると思います。感謝の気持ちを忘れずに、この実習で得た学びを活かして今後も日々医学の勉強に精進していきたいと思えます。

改めまして、ご献体してくださった方とご遺族の方々に感謝申し上げます。

まず初めに、献体をして下さった方々とそのご遺族の皆様にご心より深く感謝申し上げます。解剖学実習では、解剖学の講義を通して学んだ知識を体系化し、各器官の構造を、実際に位置関係を把握しながら解剖することでイメージと知識を繋げる事が出来ました。

また、実習は常に驚きの連続で、学んだ位置に観察する部位が見当たらない事や、別の位置にある事が当たり前で、予習や講義だけでは学べない大切な事項を学び直すことが出来る貴重な機会でした。また、学習面だけでなく精神面においても、初めてご献体を目にした瞬間から医学生としての本分を再確認し、身が引き締まる思いで実習に臨む事が出来ました。長時間複数人で同じ作業をするこゝとで協調性が養われました。

最後に、大変貴重な機会を下さった方々とご遺族の皆様にご心より深く感謝申し上げます。そして、実習を通して学ばせて頂いた知識と経験を無駄にする事がないよう一層勉学に邁進していく所存でございます。

初めに、献体してくださった方々、並びにご遺族の皆様方に心より感謝申し上げます。

解剖実習を通じて、教科書や資料集、講義などで学ぶ座学の知識と、実際の人体の構造の違いに驚かされました。平面的な図では理解できない立体的で複雑な構造を目で見て学ぶことが出来、また人によって個人差があり教科書通りにはいかないという事を思い知らされました。この経験は非常に有意義で貴重なものであり、今後医師となるうえでの糧になると思っております。それを生かすためにも、今後も医学の勉強に励み、献体してくださった方のご厚意を無駄にすることのないよう努めてまいります。

また、解剖実習を通じて、医学的な知見を得るだけでなく、グループで話し合い、連帯して共同作業を行う事もまた学ぶことが出来ました。このこともまたこれから先チーム医療などで役立つことと思えます。

最後に、私たちの医学教育のために献体してくださった方々、並びにご遺族の皆様方に重ねて感謝を申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

まず、献体して頂いた方々とそのご遺族の方々、献体の会の会員様に心より感謝申し上げます。

今回の実習を通して、特に人体の構造の難しさを実感することができました。教科書で習うような人体における主要な臓器や組織の構造でさえ、すぐに同定できなかったものが少なくなかったことに衝撃を受けました。さらに、他の班のご遺体を参考にしても、個人差があるために、あまり参考にならないことがあり、アトラスがいかに実際の構造を省略して書かれているかを痛感しました。その点で、よりミクロな知識レベルから、患者さんお一人お一人に合った治療をすることの難しさを実感しました。

こうして人体は個人差があるにも関わらず、各々の手術には共通の適した術式があることを考えると、いかに過去の解剖実習や研究の積み重ねが医学の進歩に結びついているかを実感でき、医学の進歩のためにご協力くださる方々に対するありがたさを痛感しました。同時に、自身がいかに知識や経験が不足しているかを痛感し、今後も気を引き締めて学び続けなければならないと強く思いました。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださったことに、心より御礼申し上げます。

この度は解剖学実習に参加させていただきました。献体してくださった方々や、協力してくださった先生方、さらにはともに実習に参加した友人に感謝の念でいっぱいです。ご遺体に触れ、改めて命を扱う職業である医者への責任の重さを実感しました。

解剖学実習を通して一番強く自覚したことは、遺体の体に触れるというめったにない素晴らしい経験は、自分の体を提供してくださった献体してくださった人のご厚意によって成り立っているものだということです。私たちは一人一人の命という大きなものを実習台の上のせてこの実習をしています。その事実から、私たちはこれから人の命を預かり、左右する現場に行くのだという自覚がより一層強くなりました。この経験は私たちの将来に生きることとなり、これから医者として仕事を行うときに今回の実習を思い出すことを確信しました。改めまして、今回献体してくださった方々、その後遺族の方々、その他解剖学実習にかかわってくださった多くの方々に、改めてお礼申し上げます。

まず、献体をしてくださった方とそのご遺族の方に大変深く感謝を申し上げます。献体してくださった方のご意志とご遺族の方のご理解があったからこそ私共は解剖実習という極めて貴重な経験をすることができました。

実際にご遺体を解剖させていただくことで、座学で学んだことを確認することができ、特に座学だけでは理解することの難しい、立体的な構造への理解をより深めることができました。そのうえ、教科書に記された構造と献体していただいた方との違いも確認でき、その構造の多様さを実感することができました。

また、解剖学への理解が深まっただけでなく、医師を目指す心構えも同時に深められたと思います。実際にご遺体を解剖させていただく中で医師になる、ということの責任、重大さをより一層感じることができました。

最後に、改めまして、ご献体くださった方とそのご遺族の方に感謝を申し上げます。与えてくださったこの貴重な経験を糧にしてより一層の努力を重ねてまいります。いりたいと思います。

まずは、献体してくださった方、ご遺族の方に深く感謝を申し上げます。

事前に人体解剖学の講義を受け、臨んだ実習ですが、まさに「百聞は一見に如かず」という言葉の通り、何度も教科書や講義を復習するよりも、実際に見た方がはるかに多くのことを学ぶことが出来ました。実際のご遺体の複雑さに対し、教科書などで記されている図はかなり簡略化されていることがわかり、今後医療従事者になるにあたり、教科書に載っているような知識の詰め込みだけではなく、もっと実践的なことも学ばなければならないのだと改めて気づかされました。また、この実習は、人体構造の学びの機会としてだけではなく、立派な医師になるという心持ちを確固たるものにする機会ともなりました。

将来どのような道に進むにしても、この貴重な経験が私たちの基盤となることは間違いありません。改めまして、献体してくださった方、ご遺族の方のご厚意に今一度感謝し、一層精進してまいりたいと思います。

解剖学実習は人体解剖学・生理学・組織学といった、人体に関する基礎的な事項を学ぶのと並行して行った実習ということもあり、講義で学んだことをすぐアウトプットできたので、非常に効率的に学ぶことができたと思います。加えて、直前の講義で学んだことを単にアウトプットする場ではなく、私は実習を通して、新たな疑問を生み、さらに追及する題材を持つてくる場とも思っています。そのような疑問点に関して調べたり、班で議論したり、先生に質問し教えていただくことで、人体の構造をより深く理解することができ、さらには人体の構造に対する興味や医学を学ぶ意欲もさらに高まりました。

今回の実習は、常々、献体をしてくださった方々、またそれに賛同してくださったご家族の皆さまのご協力なくして成り立たなかったと思っております。感謝申し上げますとともに、今回で学んだことを無下せず、むしろ最大限に生かせるよう、精進してまいります。本当にありがとうございます。

はじめに、献体してくださった方、そしてご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

実習では座学で学んだ知識を実際に自分で観察し、理解を深めるという貴重な体験をさせていただきました。与えていただいた貴重な、しかし限りある時間の中で最大限学ばせていただくべく、事前の予習と勉強を毎回行ってまいりましたが、実習で目にした構造は教科書やイメージと違うことも多く、座学だけの勉強をして分かったつもりになってしまっていたことを痛感いたしました。

また、医学とは、人間、そして命に向き合う学問なのだということを、身をもって再認識いたしました。これからの学生生活で多くのことを学んでまいりますが、今回の実習で学んだことを心に刻み勉学に励み続けたいと存じます。

このような貴重な機会をいただきましたのも、献体してくださった方の尊いご遺志とご遺族の方々のご理解に依り成り立っているものと存じております。改めまして、このような貴重な機会をいただきましたことに深く御礼申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

解剖学実習を終え、三ヶ月の実習期間で自らの意識が随分と変化したことを実感しています。

完璧に予習したつもりでも上手く解剖できない、勉強したつもりでも知らない知識と出合う、でも諦めれば進歩はないから頑張る。この繰り返しからより勉強に励むようになり、気づけば休日も必死で勉強している自分がいました。勉強は習慣化し、少しずつ理解が進むことに喜びを感じられるようになりました。

初めてメスを握りました。自分の中の医師のイメージに少しずつ近づいていくという実感が湧きました。ご遺体に触れることで、医師の仕事が人の命に直結することを再認識しました。まだまだ医師の卵にすらなれていない段階ですが、このような意識を持てたことは、今後の成長につながると確信しています。

解剖学実習で身につけた医学の勉強に対する粘り強い姿勢と、よい強く感じた医師になることへの責任感を忘れずに、今後の勉学に一層励みます。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

ご遺体を解剖するということは誰もができることではないと思います。例えば私たちの場合は将来医療従事者や研究者として医学・医療に関わることから、人体の構造を知る必要があるためにこのような機会を得ることができました。ただ人体の構造の知識を得たい人であつたら実際にご遺体に触れるべきではなく、座学を通して理解することはできるでしょう。しかし、私たちは医療従事者として人の命と深く関わるため、または研究者として医学の発展に関わるため、実際のご遺体から知識を体感する必要があつたのだと考えています。

また、本来なら亡くなられた方をお見送りする一連の時間は途切れることなく大切にしたいとお思いになるはずです。その上で、ご本人とご遺族の方がご理解ご協力をしてくださることで医療者の知識は支えられています。つまり、前述したようにご遺体の解剖は医療・医学のために欠かせないものではありませんが、当たり前にご遺体に触れさせていただいているわけではないという自覚は決して忘れてはいけません。

私はこのように自分の医学生としての学びは多くの人に支えられていて有難いものであるという自覚を忘れずにいたいと思います。

初めに、医学の発展のために献体をしていただいた方、ご遺族の方々にご心より御礼申し上げます。

解剖学実習を終えて一番に感じたのは、自分がいかに人体の構造を理解できていなかったということです。実習前に教科書や授業でいくら知識を詰め込んでも、いざ実際に見てみると立体的な配置や構造が自分の解釈とは異なっているということは珍しくありませんでした。実習終了後の現在でも、完璧に人体の構造を理解出来たと自信を持つて言うことは出来ません。しかし、自分は何が分からないのかということを早期に自覚し、今後の医学学習への糧とすること。それが二年生で専門科目を学びたての学生に人体解剖実習を経験させることの意義のひとつなのではないかと感じました。

実習中は同級生たちと人体の構造の美しさに感動しあい、互いに議論を重ねながら解剖を行うことが出来たのも良い思い出となりました。同時に、実際のご遺体にした時の緊張感から、真摯に人間に向き合わなければならないと気持ちが引き締められました。献体して下さった方々の想いに応え、学識・人格ともに優れた医師になれるよう、今後も研鑽して参ります。本当にありがとうございます。

はじめに、献体してくださった方々、そしてそのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。みなさまのご厚意によりこのような貴重な学びの場を得ることができて、解剖を通して、座学では得られない様々な学びを得ることができました。

ひとつは教科書と実際の構造は全く異なるということです。教科書には一般的な体の構造が示されていますが、体つきが異なっていることや、変異が生じている関係で一人一人の構造が異なることを、身をもって理解することができました。これは座学だけでは学ぶことのできないとても貴重な経験になりました。

そして、医師になるにあたっての責任感を強く感じました。このような解剖実習がどれほど多くの方々に支えられているかを実感し、今後の勉学に対する姿勢を改める機会になりました。医師という職業が人の命を預かる仕事だということを通して深く再認識させられ、これからも勉学に励み、一人でも多くの命を救える医師になれるよう努力し続けていきます。

最後にこのような貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

まず初めに、献体してくださった方々のご遺族の方々、ならびに献体の会の会員の皆様に心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

人体解剖学実習では、各回で解剖する部位の用語を覚え、実習の手順書と講義内容や教科書を照らし合わせて事前にどのような作業を行うのか把握した上で実習に臨みました。しかし、実際に解剖をしてみるとほとんどの作業が一筋縄ではいかず、人体の複雑さを実感するとともに、複雑でありながらもそれぞれの構造が有機的に結びついている様子を学ぶことができ、非常に貴重な経験となりました。

人体解剖学実習は、実際にご遺体に触れてより詳細に人体の構造を学習する機会であるだけでなく、将来医師になることを志す者にとっての、一つの通過儀礼としての側面も兼ね備えています。最初の実習日の前日は、初めてご遺体に触れさせていただくことへの緊張を抱えていましたが、回を重ねるごとに、献体してくださった方の期待に応えられるよう責任をもって取り組むことができました。

改めまして、この度は貴重な機会をくださって本当にありがとうございます。献体してくださった方々のご冥福をお祈りし、感謝の言葉とさせていただきます。

解剖実習を振り返ると、当初は体力的・精神的な疲労から過酷な期間をどう乗り越えるかに不安を感じていました。しかし、その結果は達成感に満たされました。この実習を通じて、自分が医学の道歩んでいる実感が湧きましたし、本当に医学部に入学したことを実感しました。

実習中、特に意識したのは「謝罪」ではなく「感謝」の気持ちを持つことでした。ご遺体を提供してくださった方々への感謝の気持ちを言葉と行動で示すことが大切だと気付きました。

個人差についても、実際のご遺体を通じて男女の違いや体の特徴の多様性を感じました。教科書との違いや、臨機応変に対応する能力の重要性も学びました。これらの経験から、医療現場では柔軟な思考と絶えず学び続ける姿勢が必要だと感じました。

この非日常的な期間を通じて、精神的な成長を遂げたと思います。実際に手で触れ、見て理解することで、人間の体の構造や臓器についてより具体的な知識を得ることができました。この貴重な経験を通じて、将来の医学の学習と臨床に活かしていきたいと強く思います。

献体してくださった方、並びにご遺族の方々に心より感謝申し上げます。この度、解剖学実習を通して多くのことを学ばせていただきました。

私は昨年、教養部でM. フーコーの『臨床医学の誕生』を輪読する授業を履修し、解剖学と臨床医学が結びつき、人体に対するまなざしが変遷してきた歴史について知りました。しかし、その議論は実感を伴わず、どこか空想的に感じました。今年から始まった基礎医学の講義では人体の構造と機能に対する知識が深まり、人体を理解できたと思えました。しかし実習が始まるとすぐに、それが間違いであったと気づきました。私たちが対面するのは図式ではなく、人だったのです。血管・神経の走行、筋肉の付き方、臓器の位置、結合組織などが密接に関わり合い一人の人間を形作っていました。ご遺体を深く解剖していく中で、教科書ではまるで分からない、その方の人生が形成してきた構造やその手ごたえを感じ、気がつけばこの数か月で人体への認識が大きく変化していました。

このような貴重な経験を積ませていただく機会をくださりありがとうございます。これからはこの経験を活かし、社会に貢献していけるよう精進してまいります。

まずは解剖学実習のためにご献体をしてくださった方とそのご遺族の方から感謝申し上げます。実習を通して座学では学ぶことができない多くの気付きを得ることができました。

まず、ご遺体には個人差があり教科書通りに実習を進めることがとても難しいということです。医師として治療・診断に必要な知識を身につけることは必要不可欠ですが、それ以上に患者一人一人と向き合うことが重要であることを実感しました。

また、周囲と協力することの重要性を再確認することができました。私にとって今回の実習は初めての経験であり、十分に予習をしても不安がありました。しかし班員と協力しながら進めることで自分の理解を深め、異なる視点からの気付きも得ることができました。今後の学生生活でも他者の考え方を尊重し、議論しながら自分の理解を深める機会を大切にしていこうと思います。

今回の実習で得た気付きを忘れず、知識のみならず目の患者一人一人と向き合えるような医師になるため、日々精進してまいります。貴重な機会をくださり誠にありがとうございます。

最後になりますが、ご献体してくださった方のご冥福を心よりお祈りいたします。

初めに、ご献体をしてくださった方々にご冥福をお祈りするとともに、このような貴重な経験の場を与えてくださったことに衷心より感謝申し上げます。

この実習において多くの学びや気づきが有りましたが、特に次のことが印象に残りました。それは、人体の構造はそれぞれの人によって大きく違うことです。講義を通して教科書などで示されている構造はあくまで代表的なものであるということを理解していたつもりでしたが、実際のご遺体でその事実を肌で感じる事が出来たのは大変意義深いものでした。また、解剖実習は複数人からなる班で行いましたが、その中で医療は多くの人の協力なしには成立し得ないものであることを痛感しました。

今回の実習で得られたこれらの気づきは今後の学習だけでなく医師になった後にも必ず役立つものであると確信しております。ご献体をされた方々のご遺志に背かぬよう全身全霊で医学の学習に励む所存です。

最後にはなりますが、このような貴重な経験を出来たことを、ご献体をされた方々、そのご遺族の方々及び献体の会の会員の皆様に深く感謝申し上げます。

解剖学実習の感想を述べる前に、まずは献体してくださった方々とその遺族の方々に厚く感謝を述べたいと思います。皆様のご厚意無しには、この非常に貴重な経験は得られませんでした。

実習に臨む前には教科書などを見ながら講義を受けましたが、実際に遺体を解剖すると、自分が平面図から想像していた構造と、実際の人体の構造には乖離があることを実感しました。組織の階層や順序は覚えて臨みましたが、その厚さ、深さ、広がりには実際にこの目で見て初めて理解できるものでした。

また、実習が始まる前は、解剖学実習は教科書で描かれた構造を確かめる作業だと思っていました。そのため病気がないご遺体ほど勉強になると思っていました。しかし今思うのは、病気や変異があるご遺体から学べることは非常に多いということです。正常な組織と質感が全く異なることを知ることができました。治療の跡からどのような手術がなされたのか不思議に思う場面もありました。今後の勉強で理解できるようになりたいと思わせてくれるものでした。

貴重な経験を今後の勉強に活かし、良い医師になれるよう一層精進したいと思います。ありがとうございました。

初めに、献体してくださった方々およびそのご家族に心より感謝申し上げます。この解剖実習を通して、机の上で勉強しているだけでは決して得ることのできなかったであろう深い理解ができたと感じます。

実習に臨むにあたって毎回入念に予習をしていましたが、教科書の図などで見るのと実際に手を動かして剖出するのでは全く違って難しく、思うようにいかないことも多かったです。しかし、体の構造は個人差が大きいことを実感できたり、図で見ているよりも各構造の位置関係が直感的に理解できたりと、大変貴重な経験になりました。何よりも大事だったのは、人体の構造に正解はないということを実感できたことです。一人一人顔つきが違うのと同じように、体の中も一人一人違うということを、身をもって理解することができました。

改めまして、献体してくださった方々のご遺族の方々に深く感謝申し上げます。今回の実習で得た感覚は得難いものであると同時に、将来医療従事者として働くうえで必要不可欠なものであったと思います。この経験を活かして、これから医学生、ひいては医師として一層精進していきたいと存じます。

解剖実習室にてありがたいことに人体解剖をする機会があった。目の前の台に置かれた、献体してくださった方はとても冷たかった。しかし、見ただけでは生死の区別がつかないくらい安らかであった。いざ体にメスを入れるとき、最初はとても緊張した。メスの切れ味がとても鋭く、そこに一番驚いた。皮膚を剥いで、筋肉や臓器を剖出していくうちに、人の体の複雑さ、特殊さにとても驚いた。解剖実習と並行して、解剖の講義動画を視聴したり、解剖の単語を覚えていたりした。そのため、人の体の構造について少しはわかった気になっていた。

しかし、実際の解剖では臓器のサイズや位置も見本とはかなり異なっていて、自分が思っていたよりもとても難しく、進度が遅くなった。人の体は人それぞれ多様な構造をとっているんだなと改めて感じた。

今回の解剖実習を通して一番思ったのは、人の生と死は隣り合わせなんだなということだ。臓器や筋肉は生きている人と何も変わらないのに、生きていないというだけで冷たく硬直してしまっている。献体してくださった方を解剖して改めて命の重さを感じることができた。

医学科二年生として本格的に医学を学ぶにあたり、ご遺体を解剖させていただいたことで、人体の構造や機能への理解が非常に進んだと思う。自習中は自らの知識不足を痛感することや、実習がスムーズに進まない場面も多くあったが、実際に自分の目で見て、手で触ることで、講義のみではイメージできない点、十分に理解することのできない点を明瞭にすることができた。また、一年次とは異なり、マウスやカエルといった動物でなく、ご遺体を解剖させていくことで、医学生としての自覚が芽生える大きなきっかけとなった。

今後、医療従事者として臨床の現場に進み、よりよい医療の提供を目指していくものとして、人体解剖学実習を通して学んだことが基礎となることを確信している。実習に必要なご遺体の数が不足した期間もあった中で、このように多くの方が献体を希望してくださったことに感謝すると共に、この気持ちを忘れることなく、今後の学びのモチベーションにしていきたいです。

初めに、献体してくださった方及びご遺族の方に心より感謝申し上げます。

解剖を通して、人体の構造の複雑さを実感しました。授業を通して学んだ内容を解剖実習の中で実際に作業して、自分の目で確かめました。毎回、しっかりと事前に解剖予定の範囲について授業を聞き、自習して臨みました。しかし、実際に解剖をして人体の構造をみると、解剖前にイメージしていた構造とは違った構造が現れることも多く、人体の構造に関する理解を深めることができました。

人体解剖を実際にするというのは非常に貴重な経験であると思います。今回の経験を通じて、患者さん相手にする医師というのはどうということなのか、について考えるきっかけが得られました。人体の構造というのは想像以上に複雑で、その複雑な構造から解決策を導き出すためには、様々な関連知識を持つ必要があると感じました。将来、周囲の人から信頼される医師になるためにも、しっかりと目の前にある課題を一つずつクリアし、日々努力を積み重ねていこうと思います。

最後に、献体してくださった方々に改めて深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

はじめに、献体をしてくださった方々およびご遺族の方に深くお礼申し上げます。

座学のみでは医師にはなれないと感じていました。医師という職業は生身の人間を対象としているためです。ですが、今までの私の人生の中で人の生死に直面する場面は少なく、自分の中の医師像がぼんやりとしていたように思います。

私たちは解剖実習中に、献体してくださった方に様々なことを勉強させていただきました。実際の人体の構造だけでなく、医師としてどう人に向き合うべきか、という医師としての指針を学ぶことができました。今までの人生の中でこれほど長い時間、冷たくなってしまったお体に向き合うということがなかったためです。先日祖父が亡くなった際にご遺体を見て、祖父との思い出や感謝の念、もっと会いに行けばよかったなどの後悔の念を抱いたことを思い出しました。これから先、私たちが向き合うべきものは人の身体だけではなく、その方の生活、歩まれている人生の軌跡であるということを実感いたしました。

このような貴重な経験をさせていただいたことにあらためて感謝申し上げます。この経験を糧に、医学を通して人を救う医師になりたいです。

大切な方のご遺体を弊大学の教育・研究のために寄贈してくださった方々

へ、深く心からの感謝の気持ちをお伝えしたく存じます。大切なご遺族の喪失という深い悲しみの中で、医学の発展のために他者を思い、尊い贈り物をしてくださったことに心から感謝いたします。皆様の勇氣ある決断は医学研究や医療の進歩を支える大切な一步となり、新たな治療法の発見、引いては人々の健康と生活の質を向上させる手助けとなります。また、ご遺体を提供してくださったことによつて我々新しい世代の医師や歯科医師が、皆様からご提供いただいたご遺体を通じて解剖学を学ぶことができ、高度な医療技術の習得および将来の患者さんへの正しい医療の提供の第一歩となりました。

私たちは常にご遺体を、敬意をもつて取り扱い、最大限の尊厳を持って解剖を行わせていただきました。これからも感謝の気持ちを忘れず、医療の向上に努めてまいります。

最後に、皆様からの寛大な贈り物は決して忘れることはありません。安らかな眠りをお祈りすると共に、心から感謝しています。本当にありがとうございました。

私は人体解剖学実習を通じて、大きく二つのことを学ぶことができました。

一つは人体内の組織や器官の大きさや位置関係などをより分かりやすく理解することができたことです。これまでの人体構造総論などでは、主にスライドや教科書といった資料によって二次元的にしか構造を把握することができませんでした。しかし、実際に遺体を解剖することで、それらを三次元的にとらえることができました。これまでは胃と食道など、資料によって切り離されていた組織、器官も一続きになっており、また資料ごとに異なる倍率で描かれていましたが、それらも実際の大ききで観察することができ、人体の構造の理解するのを助けてくれました。

二つ目は、外科手術の難しさです。今回、ご遺体を解剖するうえで、とても細かい血管や神経を誤って切ってしまうことが何度かありました。これを実際の現場で一度でも行くと、それだけで手術後の患者の体に障害が起きてしまうことを考えると、外科手術がとても難しいことが分かりました。同時に、そのようなことを起こさないように、人体内の構造をあらかじめ理解しておくことが重要であることも分かりました。

はじめに、献体をしてくださった方々及びそのご家族の方々に心より感謝申し上げます。解剖実習は医療人としての道を歩むにあたり、非常に大きな経験であったと感じています。

この実習で一番学びになったことは人には個体差があるということです。教科書などのイラストはあくまでも大まかで典型的な組織や構造を表したもので、細かな部分は皆それぞれ異なることを実感しました。筋の付き方や神経の走り方に加え、臓器の大きさや形もさまざまで、今回ご遺体を解剖し、教科書の図や他のご遺体と比較できたことは貴重な経験になったと思います。

現在のところ私は小児科医になりたいと考えているのですが、子どもの年齢によって体のつくりはさらに様々異なるでしょう。細かな差異も見逃さずにひとりひとりに合った治療を選択できるよう研鑽していききたいです。

改めて、今回は貴重な機会を提供してくださり本当にありがとうございます。今後の医学部での学び、ひいては医師になってからの日々を生かしていきます。

初めに今年の人体解剖実習において、ご献体してくださった方々にご遺族の方々へ深く感謝申し上げます。この体験は、将来医師になる私において非常に重要でありがたいことだと感じます。

二年生では座学が多く、教科書や教材を通じての学習で私は大丈夫な気でしたが、この実習を通じてこの考えは消え去りました。実際に解剖を始めると、わからないことだらけで最初はかなり不安でした。なぜなら、実際の人体の構造は人によってそれぞれであり、教科書通りのものだけではなかったからです。先生方、解剖班のメンバーとの協力で解剖を進めていく中で、私自身の体験と教科書の知識とをリンクさせることができ、解剖学についてより理解が深まったと感じました。

最後に、このような学習ができたのはご献体してくださった方々がいらっしゃるからであり、改めて深く感謝申し上げます。この実習を通じて学んだことを将来人々のために活かせるように、これからも勉学に励みたいと思います。

初めに、献体をしてくださった方々及びそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。

先日解剖学実習及び頭頸部基礎の授業が終了しました。実際に遺体を解剖することを通して多くの学びを得ることができました。私が最も強く感じたのは、教科書や模型を通して学んだことがそのまま遺体で観察できるわけではないということです。私は解剖学実習の授業に当たり、実習の資料をよく確認するだけでなく、解剖を行う箇所の構造を教科書で観察して臨みました。しかし、どれだけ人体に関する知識を頭に入れたとしても、人体に対する感覚的な理解を得ることはできません。事前の準備を重ねてその構造を立体的に想像することができたとしても、実際に解剖を行ってみると毎回多くの発見をすることができ、解剖を行うこと自体の難しさを学ぶこともできました。私にとって、今回の実習は、専門的な講義で学んできた医学的な知識を自分の感覚的な理解と結び付けてくれる大変貴重な機会となりました。

この解剖学実習で得ることができた経験は、私が医師として医療に従事するうえで大きな支えになると思います。医療を通して社会に貢献できるように、今後もより一層勉学に励んでいきます。

今回解剖学実習を通してご遺体を解剖させていただきましたが、まずは献体して下さった方とご家族、加えて指導して下さった教授、アシスタントの方々に深く感謝をいたします。

人体を解剖することの目的とは、人体の構造について紙面で学んだことを実習にて再確認し、理解をより深くすることだと思っております。そのために解剖学実習には毎回ある程度予習をした上で臨むこととなりました。しかし言うは易し、するは難きとはまさにこのことで、実際に解剖を進めるにあたっては、思った通りにいかない多くの障壁がありました。脂肪が目的の構造を覆い隠してしまっていたり、構造が予習とは違って変化していたりするのです。そのたびに先生方に教えを乞いながら、班員と協力して解剖を進めていきました。

将来生きた患者さんの体で様々な手術をするにあたって、必ず教科書通りにいかない場面があるかと思えます。むしろ生体は出血する分、解剖とは比にならないほど難しいことでしょう。しかし応用は基礎の上に成るのも事実です。自分は今回の解剖実習を通して、基礎を学ぶことができたと考えております。本当にありがとうございました。

はじめに、献体してくださった方ならびにそのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。皆様のご協力のおかげで教科書だけでは学べないような人体の構造を詳しく理解することができました。本当にありがとうございます。

解剖学実習では、自分が想像していた以上に人体の構造が複雑だということに驚かされました。実習が始まった当初はメスの扱いもままならず、解剖しても自分が何を見ているのか予習をしてもよくわからないことが多々ありました。しかし、回を重ねていくことに見える組織や構造が何なのかをそれまでの経験や予習で得た知識などに基づきだんだんと判断できるようになっていきました。この経験は教科書と向き合い、わかりやすく簡略化された図を見ているだけでは決して学べなかったことだと思います。このような経験をできたのも、ひとえに献体をしてくださった方々のおかげです。

最後に、改めてこのような機会を提供するにあたって献体してくださった方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。本当にありがとうございました。

約二か月半に及ぶ人体解剖実習では多くの学びを得ることができた。まず、実習と並行して受けていた座学の講義で学んだ人体の構造を、遺体を解剖しながら立体的に、正確に理解する事ができた。例えば、小腸は複雑に折りたたまれた構造をしており、図表やイラストを見て理解するのは困難だったが、献体してくださった方の遺体の腸を実際に見ることで構造を正しく知ることができた。大きさや色等に関してもなかなか教科書の図表では知ることができず、実際に遺体を解剖したことで初めて体感することができた。

また、教科書のイラストとは大きさや形が異なる部分なども見ることができ、人それぞれ個人差があることも知れて、そしてその個人差の要因を考察できた点も非常に興味深かった。

僕たちはまだ医学を学び始めたばかりではあるが、これから先五年間の学生生活、そして卒後医者として働く中で、この人体解剖実習の経験が必ず生きてくると思うので、今回献体してくださった方には深く感謝したい。

はじめに、献体に快く応じてくださった方々とそのご遺族のみなさまに心より感謝申し上げます。そして献体をしてくださった方のご遺志およびそのご遺族のご理解のもと成り立っている人体解剖学実習を通して、改めて医学生としての自覚、人体を扱うことの難しさ、重大さを痛感できました。

今でも一回目の解剖実習でご遺体を目の前にした時の衝撃は忘れられません。それまで大学で受けてきた授業と異なり、自分の意思以外の重みを受けているゆえに全てを吸収して今後の自分の医療人生の基盤にしていこうと強く思いました。そして実際にご遺体を扱って人体の血管、神経、胃、食道等のしくみを学ぶことで、人の命に関わるということの意味を少しでも理解することができたように思います。解剖実習自体に関しては、講義や教科書で身についた知識をもとにここにこれがきつとあるはずだと考え、自分でメスとピンセットを頼りに人体の構造を知っていくことに学問的な魅力を感じました。

人体解剖学実習を通して、さらに医学への興味は深まりました。ここで得られた経験や知識をもとにこれからも学びの幅を広げ、努力を続けて医師として貢献していきたいと思っております。

初めに、献体して下さいの方々、そしてそのご家族の方々にご心より感謝申し上げます。

解剖学実習を通じて、将来医師として命に向き合うべき医学生としての自覚を強く持つことができました。これまでは、漠然と医療に貢献したいという目標は持つことはあっても、自分の勉強することがどのように将来活きるのか実感を持っていませんでした。人体を実際に解剖させていただき、日々授業で学んでいる内容を実践する貴重な機会となりました。

一方で、授業で学んだことは、実際の人体を前にすれば基礎的な事柄に過ぎず、これから学ぶべき事柄の多さを痛感しました。解剖学実習のように、医師となれば一人一人異なる実際の身体に向き合う必要があります。これからの勉学に励む中で、常に多くのことを様々な角度から学ぶ姿勢を持っていきたいと思います。

私たちの学びのために、献体をして下さった方々の思いとその期待に身が引き締まる思いです。解剖学実習で学んだ経験は、医師になる第一歩として成長する、大変大きなものとなりました。

本当にありがとうございました。

はじめに、献体してくださった方、およびそのご遺族の皆様、献体の会の皆様へ心より感謝申し上げます。

人体解剖実習で目にした実際の人体の構造は、分かりやすいカラフルなイラストはもちろんのこと、写真で見えるものとも全く異なるもので、人体の構造の複雑さや、同じ人間の身体といってもご遺体ごとに様々であることを目の当たりにしました。医学の勉強を始めて間もないこの時期にこのような大変貴重な学びができたことはご献体をしてくださった方々、そのご遺族の皆様、そして献体の会の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

今回の実習で、将来医師になって患者様ひとりひとりの様々な体と向き合っていくことはこれまでの私の想像よりはるかに難しいということを感じいたしました。この気持ちを忘れずに今後さらに気を引き締め、立派な医師になれるよう尽力してまいります。

最後になりますが、ご献体してくださった方へのご冥福をお祈りいたします。

初めに私達の医学の学習のために献体してくださった方々、並びにご遺族の方々に深く感謝申し上げます。

解剖実習を通して得た知識は、どれも実際に自分の目で見るまで分からないことばかりでした。講義や教科書だけでは体感できない構造物の細かい位置関係を知り、医師という仕事は患者さんと触れ合って初めて成り立つことを実感しました。また、人間の体の構造を理解することは、同時に命を扱う医療の仕事の重みを理解することでもありました。血管や神経を確認する過程で、このどれか一本でも傷つけると命を失うかもしれないという危機感を体験し、実際の医師の立場を想定して慎重に臨みました。解剖実習の大切さ、そしてこの様な大変貴重な勉強の場に立てることがどれほどのご厚意の上に成り立っているのかを噛みしめて、毎回実習に参加させていただきました。

解剖実習を経て、患者さん一人一人と向き合う医師という仕事、そして一人でも多くの命を救うための医学研究に携わりたいという強い意志を再確認できました。沢山の方々のご遺志があつて学習できているということを常に心に留め、この経験が何一つ無駄にならぬよう精進して参ります。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

初めに、献体してくださった方ならびにご遺族の方々に深く御礼申し上げます。献体をご決断いただくまでに相当悩まれた方もいらっしゃるかと存じます。私自身、二度目の大学生活ということもあり年齢が進んでおりまして、老いてきた両親に残された時間を考える瞬間が増えてまいりました。いくら両親に献体の遺志があったとしてもいざ決断の場になると躊躇する自分の姿が容易に想像できます。そのような状況の中、私共のために献体を決意していただいたことに誠に感謝申し上げます。

実習においては、献体してくださった方やご遺族に恥じないよう、班員が一丸となり、誠意をもって実習に取り組ませていただきました。実習を通じて、教科書や三次元モデルのアプリでは決して学ぶことができなかった気づきを多く得ることができました。これらの気づきは医師になったときに患者さんのために活かすことができると確信しております。

最後になりますが、この度は貴重な機会をいただき誠にありがとうございます。私のような所謂「学び直し」の人間にとって、本実習の意味するものは非常に大きく、医学の発展のために尽力したいという決意がより強固なものになりました。

はじめに、献体してくださった方々のご遺族の方々に深く感謝申し上げます。約二ヶ月間の解剖実習でしたが、実際にご遺体を解剖しなければ得られない学びがたくさんあり、この学びを活かしていくことに大きな責任と使命感を感じております。

最初は座学で実感しなかった人体の複雑さに戸惑いました。人によって血管や神経の走行に違いがあるため、パターンを把握し論理的に考えてそれらを同定する必要がありました。自分なりに十分予習をしたと思い臨んだ第一回の実習では、手順書に記載されている構造を見つけないのがとても難しく、教科書通りではない人体の奥深さを実感したとともに、勉強不足を痛感しご遺体に対して申し訳ない気持ちでいっぱいでした。以降、予習と復習に工夫をし、周辺構造も把握することで探す糸口を複数確保してから挑むようにしました。班員と助け合いながら理解を深めて行った実習は医師になってからもずっと活きる経験だと感じております。献体してくださった方の想いを受け止めるために、より一層日々精進し良い医師になることを志します。心に残るかけがえのない体験をさせていただきました。本当に有難うございました。

人生の最後を医学生教育に託してくださった方々に、深く感謝申し上げます。毎回実習前に行われる黙祷で、身の引き締まる思いを感じるとともに、献体してくださった方への感謝を抱いていました。

近年、三次元技術が発達し体内構造を三次元で見ることができるようになりましたが、解剖実習は今後とも必ずご遺体を解剖する形で行って欲しいと思っています。その理由は二つあります。

一つ目は、医学生であること及び医師になることの責任を重く実感できるからです。教科書の写真や二次元技術では、ご遺体を解剖することによって実感する責任は実感できないと考えます。ご遺体を解剖することで勉強させていただける医学生はそれだけの社会からの期待と社会への責任を背負っているという実感は、解剖実習で得られた大きな学びです。

二つ目は、医学は簡単には理解できないということが理解できるからです。座学で学んだ知識を基にご遺体を解剖しても、想定した場所に想定した構造がなかったりすることが往々にしてありました。解剖実習を通じて、人間を扱う学問だからこそ、座学だけでなく実際の現場での学びが重要であることを理解できました。

改めて、感謝申し上げます。

初めに、解剖実習のためにご献体してくださった方々にご遺族の皆様深く感謝申し上げます。

解剖実習は五月から七月にかけて行われ、その中で私たちは座学と実習を通して人体の構造について学びました。実際にご遺体を解剖することによって授業や教科書だけではイメージできない人体の立体構造や構造の位置関係を理解することができました。また、人体の構造は器官によって個人差が非常に大きい場合があり、実習を通してそのような教科書にのっていないことも勉強することができました。

私は今まで経験したことのない緊張感を持ちながら解剖実習に取り組み、将来医師として人の命に係わる仕事をするこの責任感を覚えました。また、生命を支えている構造を自分の目で見ることにより、人体の神秘さを改めて感じました。ご献体してくださった方々の期待に応えられるように今後はより一層真剣に勉学に励み、実習を通して学んだことは医師になってからも大切にしていきたいと思えます。

改めまして、この度はこのような貴重な機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。